

# 議会 だより



## 第9号

平成28年1月12日  
発行

12月13日(日)に村民文化祭が白川郷学園体育館で開催されました。村内で活動している団体が発表できる貴重な場として、日頃の活動の成果を精一杯披露しました。発表者及び関係者の皆さんお疲れ様でした。

### CONTENTS

新年のあいさつ	2	議会改革特別委員会 より報告します	10
12月議会定例会	2~4	白川村未来会議を開催	11
<b>12月定例会</b> 一般質問	5~10	村民のふれあい懇談会を開催	11
議会の予定	5・6	歴史のとびら	12
自治功労者表彰を受賞	7	議会探検隊募集	12
議会から村長に提言しました	8・9	編集後記	12



白川村  
shirakawa village



白川村議会議長 森崎 敏克

新年明けまして、おめでとうございます。日頃は、村議会全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は国の「地方創生」により地方の人口減少に歯止めをかけ、首都圏の人口集中を是正し、地方の自立的な活性化を促すため「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、それに基き本村でも「まち・ひと・しごと創生 白川村総合戦略」を策定いたしました。その総合戦略では、人口の現状と将来を予想したうえで、人口減少の要因を分析し、人口減少を克服するための目標や具体的施策が示されています。村は単独村を維持し「白川村」として存続できる努力を村民総意で考えていく必要があると考えます。長い歴史が育んできた独自の文化を守りながら、村独自の施策で、村民皆様が白川村に誇りと愛着を持ち、いつまでも住みたい村の実現に向けて議会としても取り組んでいく所存です。

また、昨年は、世界遺産登録20周年、北陸新幹線の金沢までの開通、白山スノーパーク林道が「白山白川郷ホワイトロード」と名称、通行料金の変更等により白川村への観光客やインバウンドによる外国からの観光客が増加しました。白川郷から世界の遺産白川郷に代りつつあるように感じます。これから先、さらに質の高い観光業の育成を行い、魅力ある世界遺産白川郷にしていかねければならないと考えます。

一方、議会では昨年、村民と情報を共有し村民の意見を村政に反映させる。執行を監視及び評価し政策提言を行う。合議体としての役割を果たす。の三つの基本理念のもと白川村議会基本条例を制定しました。今まで以上に、村民皆様からの声を村政に反映させると共に、村民と共に歩む議会づくりにより進んでいきたいと思っておりますので、今まで以上のご理解、ご協力をお願い致します。

結びに、村民の皆様にとって、迎えました平成28年が、幸多い年でありますよう議員一同心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

議 会 広 報

12月議会定例会は、平成27年12月7日から12月15日の会期で開かれ、意見書の採択2件、村選挙管理委員会委員の選挙、条例改正4件、平成27年度一般・特別会計補正予算6会計、工事請負契約2件、計画の策定1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

◆12月議会定例会

意見書の採択（2件）

◎TTPP合意内容が国内農業に及ぼす影響の分析開示と万全な国内対策を求める意見書

▼合意内容が国内農業に与える影響の分析と公表などを求め、衆参議院両議長、内閣総理大臣、農林水産大臣等に対し議長名で意見書を提出しました。

◎森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進に係る意見書

▼山村地域の再生、地域経済の活性化等の森林・林業施

策の推進と安定的な財源の確保など具体的な対策を求め、衆参議院両議長、内閣総理大臣、林野庁長官等に対し議長名で意見書を提出しました。

白川村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

◎白川村選挙管理委員会

委員

(任期 H28. 1. 20)

(任期 H32. 1. 19 4年間)

白川村大字有家ヶ原89番地

空 光利さん (63歳)

白川村大字平瀬35番地の68

松井 裕子さん (54歳)

白川村大字萩町1203番地

中村 秀司さん (63歳)

白川村大字飯島483番地

吉脇 満さん (56歳)

◎白川村選挙管理委員会

補充員

(任期 H28. 1. 20)

(任期 H32. 1. 19 4年間)

白川村大字有家ヶ原85番地

新谷 良彰さん (57歳)

白川村大字平瀬126番地の41

大松 勝巳さん (44歳)

白川村大字萩町952番地の1

福地 達也さん (48歳)

白川村大字鳩谷376番地の1

阿武万里子さん (45歳)

条例の一部改正（4件）

◎白川村税条例等の一部改正

▼地方自治法等の改正により徴収猶予及び個人番号制度などについて条文中の字句を追加・改正をしました。

◎白川村手数料徴収条例の一部改正

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律の施行に伴い再交付手数料を定めました。

◎白川村景観条例の一部改正

▼条文中の字句を改正しました。

◎白川村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

▼非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い公務上の災害に係る損害補償と他の法律による給付との併給調整に係る率等を改正しました。

平成27年度補正予算（6件）

◎白川村一般会計補正予算（第4号）

補正額 13,206千円増額  
（補正後、3,393,797千円）

【歳入】

※主な内容（百万円以上）

使用料及び賃借料

▼木谷残土処理場使用料（新規）9,000千円を増額しました。

県支出金

▼児童手当給付金1,109千円及び電源立地地域対策交付金1,009千円を増額しました。

諸収入

▼白山林道料金徴収等管理事業費の額の確定により1,815千円を増額しました。

村債

▼在宅障がい者支援事業債（過疎ソフト）2,000千円減額しました。

【歳出】

※主な内容（百万円以上）

総務費

▼寄贈家屋の取壊し費用3,000千円を増額しました。

民生費

▼外出支援事業3,577千円

円及び県単福祉医療助成事業1,812千円を増額しました。

衛生費

▼国保事業勘定特別会計繰出金1,974千円及び簡易水道特別会計繰出金148,308千円を増額しました。

農林水産業費

▼林道補修事業2,000千円及び白山林道料金所トイレ建設設計費等1,815千円を増額しました。

商工費

▼温泉開発特別会計繰出金等2,500千円を増額しました。

土木費

▼道路維持費（村道補修工事）10,994千円及び除雪関係事業2,000千円、県単改良事業1,400千円を増額しました。

消防費

▼常備消防費及び消防施設費等1,137千円を増額しました。

予備費

▼歳出予算の増額による財源確保のため176,744千円を減額しました。

◎白川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

事業勘定の部

補正額 25,704千円増額  
（補正後、230,448千円）

【歳入】

※主な内容（百万円以上）

共同事業交付金

▼高齢者医療費共同事業交付金1,008千円及び保険財政共同安定化事業交付金等24,696千円を増額しました。

【歳出】

※主な内容（百万円以上）

保険給付費

▼一般被保険者高額医療費2,000千円を増額しました。

**共同事業拠出金**

▼高額医療費共同事業医療費拠出金1,008千円及び保険財政共同安定化事業拠出金24,696千円を増額しました。

**予備費**

▼歳出予算の増額による財源確保のため2,120千円減額しました。

**直診勘定の部**

補正額 2,605千円増額  
(補正後、105,901千円)

**〔歳入〕**

※主な内容(百万円以上)

**繰入金**

▼一般会計繰入金1,974千円を増額しました。

**〔歳出〕**

※主な内容(百万円以上)

**総務費**

▼福祉センター等改修事業1,000千円及び医師住宅新築事業1,700千円を増額しました。

◎白川村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

補正額 148,308千円  
(補正後、212,308千円)

**〔歳入〕**

※主な内容(百万円以上)

**繰入金**

▼一般会計繰入金148,308千円を増額しました。

**〔歳出〕**

※主な内容(百万円以上)

**公債費**

▼公債費132,700千円及び公債費利子15,500千円を増額しました。

◎白川村温泉開発特別会計

補正予算(第2号)

補正額 2,500千円  
(補正後、81,200千円)

**〔歳入〕**

※主な内容(百万円以上)

**繰入金**

▼一般会計繰入金2,500千円を増額しました。

**〔歳出〕**

※主な内容(百万円以上)

**総務費**

▼温泉源泉施設修繕費2,000千円を増額しました。

◎白川村公共下水道特別会計

補正予算(第3号)

補正額 814千円増額  
(補正後、460,019千円)

◎白川村介護保険特別会計  
補正予算(第3号)

**保健事業勘定の分**

補正額 増減なし  
(補正後、2,979千円)

**〔歳出〕**

※主な内容(百万円以上)

**保険給付費**

▼施設介護サービス給付費5,900千円を増額しました。

**予備費**

▼歳出予算の増額による財源確保のため5,918千円減額しました。

**契約の締結(2件)**

**工事請負契約**

◎「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業

旧平瀬小学校舎改修工事  
125,766,000円

白川村御母衣125番地  
御母衣建設 株式会社

◎社会資本整備総合交付金事業

白川クリーンセンター汚泥  
脱水機電気設備更新工事

53,892,000円  
高山市匠ヶ丘町1番地の83  
株式会社 トーエネット  
高山営業所

**計画の策定**

◎白川村第6次総合計画

(後期基本計画)並びにまち・ひと・しごと創生「白川村総合戦略」を策定しました。



大田 貢 議員

われらがつなぐ  
合掌文化について

われらがつくる茅ニュープロジェクト、柿じいの白川遺産学セミナー、祈念フォーラムを開催しました。各イベントともに村内外へ情報発信を行い成功できたと感じています。

白川郷は本年、世界遺産登録20周年の節目を迎えた。先祖から受け継いだ「合掌文化」を世代の子どもたちにしっかりとつないでいかなければいけない。今回村が企画した「教育プログラム」や「観光プログラム」は成功のうちにおわたたのではないかと評価している。

各プログラムの成果は。

観光プログラムでは、獅子舞競演会、シネマキャラバン、あかりアートを教育プログラムでは、合掌ゴブリンをつくるう、

世界遺産白川郷は全世界が注目する観光地である。行政組織の中に世界遺産課を設置してはどうか。

考えは。

現在、世界遺産を主管しています教育委員会は保存を中心とした考え方で進めています。今後、

新しい課を設置するのであります。保存プラズ良質な活用を視野に入れた業務ができる課としなければならぬと考えています。しかし、現時点では、マンパワー不足などにより難しいと感じています。今後、機構改革が必要となつてきましたら善処したいと思っております。

村を訪れる大半の観光客は荻町地区に集中しており、このままでは益々地域格差が広がると考える。

地域格差についてどう考えているか。

村の観光は世界遺産に一極集中し、他の地域との格差は広がっていると感じています。これからの観光は自然資源を活用しながら観光産業を多極化させることが、より重要であると考えます。

1月 行事予定

行事	出席者
6日(水) 消防出初式	全議員
8日(金) 新年祝賀会	全議員
13日(水) (予定)議員懇談会	全議員
19日(火) 岐阜県町村議会議長会 地方財政対策等説明会・合同懇談会	議長
21日(木) 白川郷政経同友会 例月出納検査 議会臨時会	議長 高桑監査員 全議員
22日(金) 国道360号白川・川松整備促進期成同盟会	議長
25日(月) 岐阜県民栄誉大賞表彰及び飛騨市民顕彰式並びに両賞及びノーベル物理学賞受賞記念行事	議長
25日(月)～27日(水) 市町村議会議員研修	高桑議員





高桑 徹司 議員

今年度の各事業の

進捗状況について

村における各委員会委員の  
選出方法について

市町村合併と行財政改革に奔走した10年前と比較し、住民サービスなどは向上しており評価できると感じている。また、基盤整備や観光などの公共投資についても特別危機感を感じられない。しかし、人間は贅沢なものであり、更にも上を願うものである。行政というステージから見ると、一点集中の輝きを放つサービスより、広く行き届く80点の行政サービスを望みたい。

隊事業⑦小中一貫教育の推進について各事業の進捗状況は。

①は2年継続事業の1年目としてスケジュールどおり進捗しています。②は「しらかわ縁結びとの会」が精力的に活動していただき、今後も積極的に活動したいと考えています。③は参加者数が減少傾向にあります。高齢者の皆さんに楽しんでいただくよう取組んでいきます。④は発電を全量売電に切り替えたため、大臼川観光(株)へ最低必要経費を委託契約しています。⑤は本年、捕獲頭数が過去最高となりました。今後とも継続して行きます。⑥は空き家調査や移住者の受け入れなどに成果があります。

①公共施設等総合管理計画策定事業②結婚支援事業③敬老会開催経費④小水力発電施設管理経費⑤有害鳥獣捕獲事業⑥地域おこし協力

た。特に5世帯17人の方に移住をいただきました。⑦は小学校を統合し5年目を迎えました。異学年児童生徒の交流などにより一体感が高まったと感じています。

行政関連の各委員等の選出は、地域割りという要素を前提として決まっていることが多くと感じる。地域割りの重要性は、過疎が進む地域では大変重要な仕組みでもあり、少々の異論があっても継続するべきであると考えている。

人選する過程で区長等に事前相談するのか。

区長さんに相談することも手法の一つだと思いますが、かえって迷惑になることも予想されます。また、地域割りにしても大切な要素であります。今後とも適切な方をお願いしたいと考えています。

2月 行事予定

行事	出席者
1日(月) (予定)執行・議員懇談会	全議員
7日(金) 村民・議会議員杯スキー大会	全議員
8日(月) 岐阜県町村議会議長会役員会	議長
9日(火) (予定)議員懇談会	全議員
22日(月) 飛騨農業共済議会	議長 川田総長
25日(木) 企業誘致対策特別委員会 県外視察	全議員
26日(金) 企業誘致対策特別委員会 県外視察	全議員

※予算特別委員会を予定しています



①

先ずもって、合掌造りの  
大切さや保存の重要性を  
説いていただいた先人。

②

村長は今後の世界遺産  
についてどう考えるの  
か

本年12月9日に世界遺産登録20周年式典が開催された。記念フォーラムでは、登録時のこと・村が抱える問題・20年間の出来事・単独村の決断・駐車場問題・車両の進入規制等々について、大学教授を始め名だたる有識者の皆さんが語っていた。中でも、現守る会会長が三原則「売らない」「貸さない」「壊さない」「貸さない」について新しい見解を示した。



上手 英二 議員

今後の世界遺産について

そして、それを頑なに守り受け継いでいただいている地域の皆様にお礼を申し上げます。  
和田守る会会長が示されました「貸さない」は、こらからの世界遺産を守るためには重要な方策であると感じます。これから10年・20年先の荻町地域は少なくとも20世帯以上が離村され、合掌造りを所有されている6世帯以上の後継者が帰ってこない状態となることが予想されます。その様な中で「貸さない」の新しい考え方は、こらからの集落形成において大変有意義なことだと考えます。ただし、新基準では厳しい制約を付帯させることも必要ではないかとも思っています。



20周年記念フォーラム

受賞おめでとうございます。



高桑 徹司 議員  
(52歳)  
(H15.4.28～現在)  
(12年以上)



川田 裕 議員  
(65歳)  
(H15.4.28～現在)  
(12年以上)

この自治功労者表彰は町村議会議員の職に12年を超えて在職し、功労のあった議員に対して表彰されるものであります。

平成27年10月9日岐阜県町村議会総会において、白川村議会から2名の議員に対して「自治功労者表彰」が贈られました。

岐阜県町村議会総会  
自治功労者表彰を受賞



川田 裕 議員

・交流事業と  
村・地域活性化について

観光客が150万人の本村にとって交流事業は村外からの様に見られているかを知る重要な事業でもある。本行われた20周年関連イベントでの地元村民の関心度と盛り上がりについて。

**Q** 成果と結果をどのように活性化につなげていくのか。

**A** 観光振興課では3つの大きなイベントを実施しました。村の魅力を十分に発信し効果があったものと感じています。しかし、村民の参加が少なかったことなど、もう少し村民が一体となって盛り上がるよう努めます。

20万人以上の外国人観光客（インバウンド）を本村の活性化につなげる策として、宿泊施設の充実が望まれている。全国的には、簡易宿泊施設としてゲストハウスなども見受けられている。

**Q** 現在の取組みは。

**A** 現在3つのゲストハウスがオープンしています。いずれの施設も空き家を有効活用した施設であり、特に外国人旅行者に人気があると聞いています。村の宿泊施設が不足している中で、このような動きは大いに歓迎できると思っています。



20周年記念フォーラム



鳩谷地区のゲストハウス

議会から村長に  
提言しました

12月15日(火)の定例会終了後に村議会から以下について提言書を提出しました。

1. 村営白弓スキー場の管理運営について

現在の村営白弓スキー場は、リフト収入と維持費のバランスは客観的に見ても正常ではなく、近い将来この施設の存続の是非を行政・議会と地域で真剣に議論し、全村的に説明して行かなければいけないと考え提言する。

2. 平瀬（大白川）温泉の源泉について

平瀬（大白川）温泉は、行政に対する依存度が高く費用対効果だけを見れば、将来、村にとって永続的に維持できる施設なのか疑問視する声も少なくない。

しかし、この温泉はダム建設補償として継続してきた歴史を鑑みれば、長年努力を重ねた受益者や利用している村民・観光客に対し、簡単に廃止することができない施設でもありと考える提言する。

3. 南部地区のガソリンスタンドについて

南部地区のガソリンスタンド問題は、高齢化する地域にとつ



新谷 保雄 議員

### 食彩館の指定管理について しらみずの湯 食事処について

白弓スキー場は近隣に大規模なスキー場が開設したことやスキー人口の減少、当スキー場施設の老朽化などで利用客が全盛期の10分の1にまで落ち込んでいる。村では検討委員会を近く設置し協議・検討することであるが、地元議員としては存続を望むものである。一方、関連施設でもある森の食彩館白真弓は、村との指定管理契約が平成28年3月をもって満了する。

**Q** 今後の見通しとキャンパスサイトについて聞きたい。

**A** 現在、村内の全指定管理施設は平成28年3月をもって

て期間が満了します。どの施設におきましても平成28年早々から指定管理者の募集を行います。当然、森の食彩館やキャンパス場につきましても同様の扱いとなりますので、公募により指定管理者を決定したいと考えています。

しらみずの湯の食事処は、森の食彩館白真弓と同じ会社であったが、期間満了を持って契約が終了した。食事ができない温泉施設と利用者からは苦情が出ている。

**Q** 今後の方向性について。

**A** 大白川温泉(株)につきましても、第3セクターというところで村長が取締役の



森の食彩館 白真弓

一員であります。取締役会の中では、会社の従業員にて、食事を安価で提供できるような改善できないか検討中であります。現在休業中で施設利用者の方に大変ご迷惑をお掛けしていますが、結論が出るまで今しばらくお待ちいただけます。

#### 4. クアオルト事業の導入について

議会では、村民の健康寿命を延ばし将来村の観光産業となり得る可能性があるとし、事業導入を前向きに検討している。

しかし、事業実施に際し、構想だけが独り歩きし実態がなかなか見えてこない状況が続いていることに対し、真に事業を実施するの可否かを早急に結論付ける必要があると考えて提言する。

#### 5. 空き家対策及び移住定住促進事業について

空き家対策及び移住定住促進事業は、村の人口減少に歯止めをかけるなどの活性化には必要な施策の一つである。既にどの自治体よりも先進的に取り組んでいる事例も多く、また、地域おこし協力隊の活動の中でも主体的に行っている姿は、村の未来に向けて評価できるものである。

しかし、受入れ体制等にももう少し改善の余地があると考えて提言する。



大田 忠広 議員

□ 介護等離職ゼロについて  
 □ 世界遺産20周年イベントを終えて  
 □ 地方創生について

国は看板施策として「介護等離職ゼロ」を目指す方針である。

Q 白川村の考えは。

A 村の介護離職といった事例はあまり聞きません。しかし、今後介護離職が発生する可能性は十分に考えられますので、動向に注視していきたいと考えています。

世界遺産20周年記念イベントについて

Q 課題と継続すべき取り組みは。

A 観光振興課、教育委員会とともに各種イベントを

施いたしました。それぞれにおいて成果と課題がありました。本年度で廃止するイベントもありますが、中には来年度以降も継続するイベントもありますので、各イベントともにも反省を活かし工夫しながら開催いたします。

平成28年度の地方創生関連事業について

Q 村に合った事業要求をしているのか。

A 本年は、村事業として商品券発行など5事業を実施。広域連携事業として海外誘客促進など3事業を実施をします。来年度の事業は現在予算要求中ではあります。外国人旅行動態調査、村HP英語対応、スマホ対応などの環境整備を計画しています。



白川村第6次総合計画(後期基本計画) 並びにまち・ひと・しごと創生 白川村総合戦略

議会改革特別委員会より報告します

平成27年12月8日(火)に議会改革特別委員会を開催し、本年4月から施行しました「議会基本条例(日27・4・13発行(第5号)に掲載)について評価と今後の取組みについて審議いたしました。

審議の内容は以下のとおりです。

1. 評価について

各条文について評価を実施しましたが、本条例を施行して1年が経過していない中で、個別評価は時期尚早と判断しました。今後は、達成されていない条文に対し積極的に取り組んで行くことを確認しました。

2. 今後の取組みについて

「開かれた議会」を第一責務と捉え、議会だよりなどを活用し村民の皆さんに広く周知し、議会人として研鑽に励み努力することを確認しました。

委員長 新谷 保雄

## 白川村未来会議を開催

議会では初の試みとして「白川村未来会議」を12月16日(水)に白川村役場で開催いたしました。

この白川村未来会議は、最近「子ども未来会議」「若者未来会議」など村内の異世代で開催されたことに対して、議会としても村の未来をどう考え、どう創るのかについて真剣に村民の皆さんと懇談するために開催したものです。

今回は、第1回目ということで講師をお招きし、参加者を少人数に限定させていただきました。今後とも継続的に各世代の皆さんと懇談したいと考えていますので、その際は奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

**参加者** 一般9名(白川郷学園PTA役員、南部地域の方3名)、議員7名

**講師** 野村真一氏(衆議院議員 武藤容治事務所政策秘書)

**テーマ** 「政治の仕組みを考えよう!村のことを考えよう!」～政治は「事実」から～

### 懇談で出されたご意見

- ・村の人口減少が進み子どもが減少している。
- ・生徒数が少ないのに部活動数が多い。(部活動に対して親の負担が大きい)
- ・通学路に街灯が少ない。
- ・オーストラリア研修はテロの不安がある。(国内でも良いのでは)
- ・統合が失敗だったのではないか。
- ・学校図書館をもっと活用してふれあいの場をつくって欲しい。
- ・学園のホームページが活用されていない。
- ・ラジオ体操に議員が参加していない。

など、沢山のご意見をいただきました。

※今回掲載させていただいたご意見はごく一部です。今後とも多くの村民皆様からご意見がいただけるよう議会でも努力いたします。

## 村民のふれあい懇談会を開催

本年の「議会と村民のふれあい懇談会」は8月に白川・平瀬会場において開催(H27.10.9(第8号)に掲載)いたしました。今回第3回目といたしまして、現在村で活動しています「地域おこし協力隊」の皆さんと懇談を行いました。

ご承知のとおり、地域おこし協力隊員は現在7名で村内全域に活動の輪を広げており、村民の皆さまも既にお話をされた方も多いと思います。

そんな地域おこし協力隊員が現在の村をどう想い、村の将来をどう考えているのかについて懇談をいたしました。

- ・村は何がやりたいのか向かう方向が定まっておらず方向性が見えない。
- ・私たち協力隊員も村の将来や現実について誰に訴えてよいか判らない。
- ・村に楽しさを感じられれば定住したい。
- ・子どもたちは誇れる村であれば必ず帰って来る。
- ・村は全ての課題に対してまんべんなくケアしようとしている。その結果、エネルギーが分散し何も解決できていない。
- ・村民の暮らしの中で人が減ってもやることは変わらないので、どんどん負担が大きくなる一方である。村民が幸せに暮らせるためには、仕組みから考え直さなければいけない。
- ・若い方と議員が話すべきである。
- ・150万人の観光客は本当に必要か(適正数なのか)。
- ・「人がいない」「仕事がない」「誰それがやらない」はNGワードである。

など、沢山の懇談をしました。

※今回掲載させていただいたご意見はごく一部です。今後とも多くの村民皆様からご意見がいただけるよう議会でも努力いたします。

～ 一粒で三百米?～



皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年も議会だよりをご覧下さいます様よろしくお願ひ申し上げます。今回は、平成28年の新春にちなんで、早速クイズと行きましょう。現在も日本一の参拝者数を誇る神社をご存じでしょうか?この神社は、大正9年に創建されました。また、この年の2月に早稲田大学、慶応大学、明治大学、東京高師（現在の筑波大学）の4校による四大校駅伝競走と称された競技は、今も受け継がれておりますが、お分かりでしょうか?創建されたのは、東京の明治神宮。競技は、現在の箱根駅伝です。東京オリンピックが開催される2020年に丁度100年を迎えるんですよ。きっと盛り上がるんでしょうね。そして翌年の大正10年には、クレヨンで知られる現在のサクラクレパスが創業されました。また、「どんぐりころころ」や「赤とんぼ」等、今でも歌い続けられている唱歌もこの年に誕生しました。また、今の私たちの長さの基準になっている「メートル法」が制定されたのもこの年です。ところで、今回のサブタイトル「一粒で三百米」を、サクッと読めた児童・生徒の皆さんは、どのくらいいたのかな?大正10年に大阪で試験販売され、翌年の11年から大阪の三越百貨店で販売されたお菓子のキャッチコピーです。子供たちの大人気商品となり昭和2年には、おまけつきとなりました。「ひとつぶで300メートル」で一世を風靡したグリコのキャラメルが答えです。最後に、「グリコ」の名前にも由来がありますがお分かりでしょうか?商品に牡蠣エキスのグリコーゲンを使用していた事が、「グリコ」の由来だそうです。前回の歴史の扉で紹介した、大正8年のカルピスもそうですが、世界遺産を中心とした白川村に訪れる皆さまからも、愛され続けられる白川村であるように読者の皆様と共に、頑張っ行ってたらと願ひまして歴史の扉を閉じます。(高桑 徹司)

編集後記

琴臣プロジェクトや学校の公開日にあつた子供未来会議等、単なる勉強では語れない部分を見させて頂きました。職責の中で私は、行政視察に訪れる議会議員の視察対応をしています。始どの視察のテーマが小中一貫

校の白川郷学園の事なんです。すごく注目されていると思います。これからも健やかな子供達の成長を願ひ、地域の皆様すべてから温かく時には厳しく見守って欲しいと思います。(高桑 徹司)



<p><b>就任</b> 平成11年4月28日</p> <p>宮丸 文良 (飯島)</p> <p>森下 澄雄 (木谷)</p> <p>根尾 治吉 (萩町)</p> <p>松山 太郎 (萩町)</p>	<p><b>就任</b> 平成23年4月28日</p> <p>高桑 徹司 (鳩谷)</p> <p>新谷 保雄 (木谷)</p> <p>松井 實 (萩町)</p> <p>上手 英二 (萩町)</p> <p>森崎 敏克 (飯島)</p> <p>川田 裕 (萩町)</p> <p>大田 貢 (萩町)</p> <p>小坂 安彦 (平瀬)</p>
<p>小坂 安彦 (平瀬)</p> <p>板谷 克雪 (萩町)</p> <p>松井 實 (萩町)</p> <p>澤 幸作 (鳩谷)</p> <p>長瀬 吉実 (萩町)</p> <p>秋良 鼎 (平瀬)</p>	<p><b>就任</b> 平成27年4月28日</p> <p>森崎 敏克 (飯島)</p> <p>上手 英二 (萩町)</p> <p>大田 貢 (萩町)</p> <p>高桑 徹司 (鳩谷)</p> <p>川田 裕 (萩町)</p> <p>新谷 保雄 (木谷)</p> <p>大田 忠広 (萩町)</p>

**訂正とお詫び**  
第8号の歴史の扉にお名前前の記載漏れがございましたので、左記の通り訂正いたします。読者の皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

歴代

白川村議会議員

議員氏名  
(カッコは大字名)

議会探検隊募集(議会傍聴です)

森崎議長が心より皆様をお待ちしております。一般質問で戦う議員を、応援して下さい。

声は、出せませんが

**日時** 平成28年3月定例会 一般質問日

(開催予定 3月18日(金)) ※変更がありましたらご連絡いたします

**会費** 1,000円(弁当・お茶代)

傍聴のみでお帰りの方は、必要ありません。

定員  
先着10名様

**締切** 定例会会議3日前。但し、議会傍聴のみなら当日となりますが、定員に達している時は、お断りする場合があります。

申込先 白川村議会事務局まで